

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小5-中3	情報活用能力	生成AIとインターネット検索	オクリンクプラス

授業内容

検索エンジンでは生成AIが概要を出力する場合があることを知り、複数の情報を照らし合わせ、適切な情報を選び取れるようになる

準備：

- ・共有コードを使用してカード（3枚 カード①、カード②、ふりかえりカード）を取得する。
- ・みんなのボードを班の数用意する。全体共有用のみんなのボード「ふりかえり」を用意する。
- ・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。

授業の流れ：

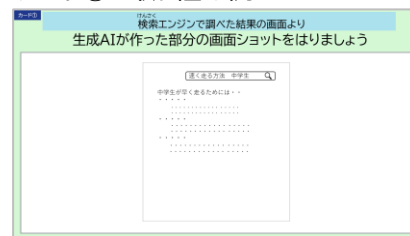
1. 「小学生（または中学生）が速く走る方法」（他の内容でも可）について、各自インターネットで検索する。
2. 検索結果の画面に、生成AIによる概要と、候補となる様々なサイトの一覧が表示されることを全体で確認する。マイボードに送られたカードを各自開き、生成AIによる概要の部分の画面ショットをとり、カード①に貼り付ける。
3. 各自、表示されたサイトの一覧からいくつかのサイトを開き、内容を確認した上でそれぞれのサイトの画面ショットをとり、カード②に貼り付ける。画面ショットの画像を「信頼できる」「信頼できない」のゲージに応じて配置する。カード②を班のボードに送る。
4. 班のボードを見ながら、どのような情報だと信頼できるか、班で考えを伝え合う。
5. 班で出た意見を全体で伝え合う。
6. ふりかえりカードに各自入力し、みんなのボード「ふりかえり」に送信して共有する。
7. インターネットの検索結果の他にも、SNS、動画共有サイト、テレビ、本など、あらゆる情報において「他ではどう書かれているか（言われているか）」を比較することの重要性を確認する。

サポータ
おすすめ
ポイント

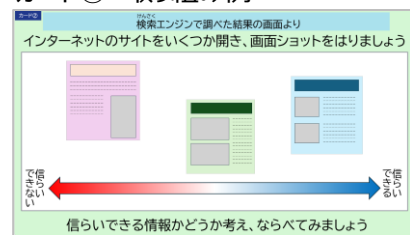
- ・生成AIの出力には誤りが含まれる可能性があるため、複数の情報と照らし合わせて真偽を確かめる必要があることを確認します。
- ・生成AIに限らず、あらゆる情報に対して探究的・批判的な視点を持ち、比較・検証しながら活用していくことで情報活用能力が身に付きます。そのきっかけとしてお取り組みください。

オクリンクプラス

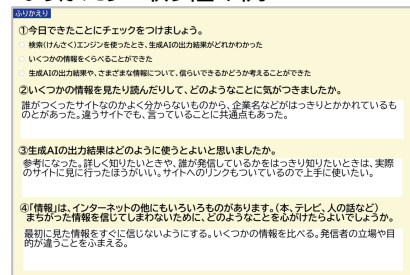
カード① 取り組み例



カード② 取り組み例



ふりかえり 取り組み例



共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む



pb01M0V595S7KEH5PZ6HG0A3APC0

ふりかえりカードをふまえた、ご指導のポイント

記入例

ふりかえり

①今日できたことにチェックをつけましょう。

- 検索(けんさく)エンジンを使ったとき、生成AIの出力結果がどれかわかった
- いくつかの情報をくравることができた
- 生成AIの出力結果や、さまざまな情報について、信らうことができるかどうか考えることができた

②いくつかの情報を見たり読んだりして、どのようなことに気がつきましたか。

誰がつくったサイトなのかよく分からないものから、企業名などがはっきりとかかれているものがあつた。違うサイトでも、言っていることに共通点もあつた。

③生成AIの出力結果はどのように使うとよいと思ひましたか。

参考になつた。詳しく知りたいときや、誰が発信しているかをはつきり知りたいときは、実際のサイトに見に行つたほうがいい。サイトへのリンクもついているので上手に使ひたい。

④「情報」は、インターネットの他にもいろいろのものがあひます。(本、テレビ、人の話など)まちがつた情報を信じてしまわないために、どのようなことを心がけたらよいでしょう。

最初に見た情報をすぐに信じないようにする。いくつかの情報を比べる。発信者の立場や目的が違ふことをふまえる。

ふりかえりの共有の際に、
下記のポイントに気づいた子供の意見を
ぜひクローズアップしてみてください。

まずは「**複数の情報を読むこと**」そのものが
大切であることを確認してください。
複数の情報を読み、
比較する習慣を定着させていきましょう。

生成AIの出力結果には、
**情報源が不明瞭だったり、
間違いが含まれている可能性がある**ことを確認し、
そのままコピー＆ペーストして使用することは
しないようご指導をお願いいたします。

複数の情報を比較・参照することが大切です。

インターネットやSNSは、本やテレビと違って、
個人による無責任な発信が可能であることに触れてもよいでしょう。

中学生であれば、
フィルターバブル、エコーチェンバーといった
SNSの負の特性について触れてもよいでしょう。